

《特集!》 相生山の四季 ～秋の紅葉編～

《秋の相生山歩き》

写真は、11月末の相生山のような様子です。
足もとには落ち葉でいっぱい。サクサクと心地よい音がします。でも意外と滑るので、斜面は注意が必要です。

秋の相生山



今回は、相生山の秋の様子を特集します。秋は散策にも最適な季節です。相生山の秋の景色を楽しみましょう！道ぎわの植物を中心に紹介します。



植生回復中の道ぎわ。調査中のようすです。
ヤマウルシやハゼの赤色がきれいです。



《紅葉・黄葉のしくみ》

樹木の葉や草は、なぜ緑色に見えるのでしょうか？また秋になると落葉樹の葉はなぜ黄色や赤色に見えるのでしょうか？

春～夏

光合成は気温25℃程度で最も効率がよくなり、クロロフィルは生成・分解を繰り返します。

養分の消費<養分の生産



《葉緑体》

クロロフィル（緑の色素）
カロテノイド（黄の色素）

光合成の効率が下がってくると、葉と枝の間に「離層」と呼ばれるコルク状の膜ができ、水や養分の流れが妨げられます。

葉が残っていると、養分が使われてしまうし、葉の表面から水分が蒸発して、生存するのに不利になっちゃう!!
落葉の準備をなきゃ!!

クロロフィルの生成は停止し、分解のみとなって壊れていきます。
葉にブドウ糖が蓄積され、樹種や気候条件によっては、糖とタンパク質が反応し新たな色素が作られます。

秋

気温が下がり、日が短くなり、光合成の効率が下がります。

養分の消費>養分の生産



《葉緑体》

クロロフィル（緑の色素）
カロテノイド（黄の色素）
アントシアン（赤の色素）

※きれいな紅葉・黄葉が見られるポイントは、「気温」「光」「水」。
「寒くて晴天で乾燥した」状態になることなんです！

《紅葉する樹木》



★4

コナラ、アベマキ
(ブナ科 コナラ属、落葉広葉樹)

子どもたちが大好きなドングリの木です。相生山にも10月頃、たくさん落ちています。落ち葉に埋もれて、冬を越し、春に芽を出します。
ドングリを拾った後は、黄葉も楽しみましょう。



★5



★1

ヤマハゼ、ヤマウルシ、ヌルデ
(ウルシ科 ウルシ属、落葉広葉樹)

山の中でもいち早く紅葉するウルシ科の仲間です。赤くてきれいですが、かぶれる場合があるので、注意してください。
敏感な方は近づき過ぎず、観て楽しみましょう。

ヤマザクラ
(バラ科 サクラ属、落葉広葉樹)

相生山にも、毎年5月に定点写真調査、1月に剪定をしながら見守ってきた根株移植したヤマザクラがあります。
秋の姿も観てみましょう。



★2



★8

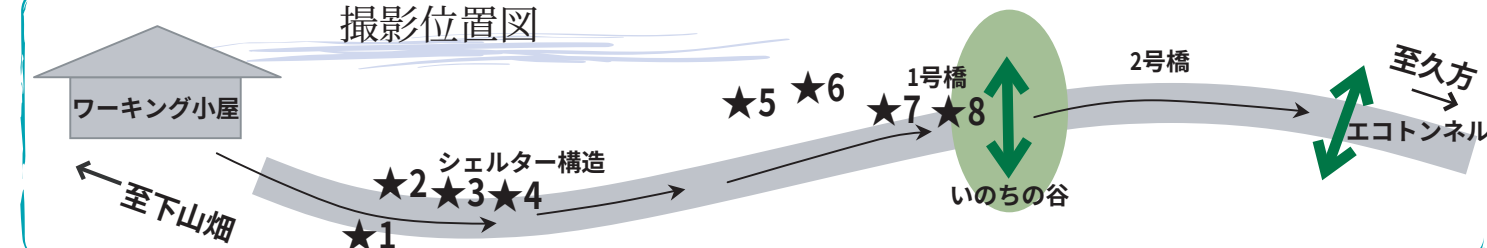


★3

★6

秋に実のなる植物もあります。
(ガマズミ、ソヨゴなど)

撮影位置図



ハギ
(マメ科 ハギ属、落葉広葉樹)

道ぎわに、小さな葉が黄色く染まるハギが生育しています。人の背丈ほどの落葉低木です。
ハギは、秋の七草の1つでもあります。



★7

